

京都教区時報

カトリック京都教区ザビエルネット/アクセスNo. 075-467-1676 ゲストID: GUEST 通信速度: 1200-28800bps 通信条件: N, 8, 1, X, N
e-mail catholic@mbox.kyoto-inet.or.jp Home Page <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/catholic/>

第235号

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
編集用 TEL・FAX
0775-27-6800
(滝野)

2・3頁 隠れキリシタンの信仰 (三)



6
1997

すべてを新しくする

— キリストとともに —

キリストの生誕二千年を記念する大聖年の準備として、聖体の祭日である六月一日に、日本の教会全体で同じ典礼、同じ意向のミサを捧げることになりました。

現代社会の中で、ほんものを探しながら苦悩している多くの人々に、喜びの実感と救いのメッセージを分かち合うことができるのは、活きる神を知っているキリスト者ではないでしょうか。キリスト者は、エマオの弟子たちの心に、安心感と勇気と喜びを与えてくださった復活されたイエスを、今も活きた生きと身に帯びているのですから、そのイエスを、日々の生活の端々で、あらゆる機会に、何らかの形で示し、イエス・キリストが今も、すべての人々の救い主であることを伝えていく使命があるのではないのでしょうか。

大聖年の準備の一年目、わたしたちが洗礼を受けてキリスト者となった意味を皆で見つめ直し、毎日生活している社会のただ中で、キリスト者の存在意義をもっと発揮して生活できる恵みを祈り合いましょう。(日本カトリック司教協議会大聖年準備特別委員会)

隠れキリシタンの信仰(三)

三 俣 俊 二

●慈悲の組

次に、私が隠れキリシタンのオラショから学んだことといえば、オラショの中に後に述べる「慈悲の所作」(十四の慈悲)が明瞭に伝承されていることです。当時、この慈悲の所作を実行するための信徒使徒職組織として、ミゼリコルディアの組が活発な活動を繰り広げていました。このミゼリコルディアの組というのは、一二四〇年フィレンツェのピエロ・ディ・ルカ・ボツシによって創立されたものと伝えられています。日本では、慈悲の組と呼ばれ、構成員により選出された慈悲役によって運営される代表的な信徒使徒職活動として、一五八三年正式に承認されました。この霊的・肉体的社会福祉事業は、マタイ二十五章などからまとめられたキリスト者の根本的実践事項を遂行するためのもので、最後の審判の折にはその実践の有無を各自に厳しく問われるべきものでありますから、全信者にとつての根本的義務であると考えられていました。ドチリナ(キ

リシタン時代の公教要理)にも慈悲の所作としてあげられ、信者はこれを暗記していました。

●ドチリナでは

ドチリナの本文を次に引用しましょう。

「色身(肉体)にあたる七つの事。

一つには、飢えたる者に職を与ゆる事。

二つには、渴したる者に物を飲ます事。

三つには、肌を隠しかぬる者に衣るいを与ゆる事。

四つには、病人を労わり見舞う事。

五つには、行脚の者に宿を貸す事。

六つには、囚われの身を受くる事。

七つには、死骸を収むる事これなり。

スピリツ(精神)にあたる七つの事。

一つには、人によき意見を加ゆる事。

二つには、無知なる者に道を教ゆる事。

三つには、悲しみある者を宥むる事。

四つには、折檻すべき者を折檻する事。

五つには、恥辱を堪忍する事。

六つには、ポロシモ(隣人)の不足を許す事。

七つには、生死の人と、また我に仇をなす者のために、デウスを頼み奉る事これなり。」

●堺目のオラショでは

次に生月堺目のオラショを見てみましょう。

「十ふのささ十ふしあり。はじめ七つは、しきしめに当る。後の七つは、スベリテに当るなり。しきしめに当たる七つの事。

一つには、飢えたる者に食を与へる事。

二つには、渴したる者に物を飲ます事。

三つには、肌えを隠しかねたる者によるひを与へる事。

四つには、病人いたはり見舞う事。

五つには、あいきょうな者に宿を貸す事。

六つには、囚われ人の身を送る

事。

七つには、死骸を収むる事。

スベリテに当る七つの事。

一つには、人の意見を加へる事。

二つには、道なき者に道を教える事。

三つには、悲しみある者を宥むる事。

四つには、折檻すべき者に折檻をする事。

五つには、恥辱を勤弁致す事。

六つには、ポロシマの不足を許す事。

七つには、しょうじな人と、またありや後をなす者が為にデウスを頼み奉る事これなり。」

以上、一部形が崩れ、意味が不明瞭になっているところもありますが、基本的にはかなり正確に伝承されていることが分かります。

●聖書を見る

前述の聖書の箇所では、地獄に落ちる人々について言われています。

「呪われた者ども、ここを立ち去り、悪魔とその手下のために用意してある永遠の火に入れ。お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせず、喉が渴いていたときに飲ませず、旅をしていたとき

に宿を貸さず、着るものがなかったときに着せず、病気のとき、牢屋にいたときに、私を訪ねてくれなかったからだ。」

「主よ、いつ、私たちは主が飢えており、喉が渴いており、旅をしており、着る物がなく、病気であり、牢屋にいるのを見て、お世話をしなかったのでしょうか。」

「はつきり言っておく。この最も小さいものの一人にしなかったのは、私にしてくれなかったことになる。」

一方、天国に入るべき人々は、この最も小さな者に対して慈悲の行いを持った人々だと言われているのです。

「はつきり言っておくが、私の兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、私にしてくれたこととなる。」

彼等が、天主の十戒、公会衆の掟と並んで、あるいは、それ以上に、この慈悲の所作の実行を重要視していた理由が分かります。

●京都で・長崎で

一五九四年京都に修道院を設けたフランシスコ会の修道者たちが始めたのも、この慈悲の所作に外なりません。家族からも見

離されたハンセン氏病の患者たちのために病院を建て、膿にただれた傷口を洗い、その傷口に接吻しました。このような看護を受けた

患者たちは、修道者たちを天使であるかのように見つけたのです。それまでキリスト教に何の関心も示さなかった人々も、あるいは敵意さえ抱いていた人々も、修道士

たちのこの慈悲の所作には感動しました。市民の熱い支持が得られたのも当然です。

長崎においても事態は同様でした。イエズス会の指導のもとに結成された慈悲の組は、一般市民にとっても不可欠のものになりました。教会や修道院、神学校など

は、一六一四年家康の大迫放令によって取り壊されましたが、ミゼリコルディアの施設だけは、強



ミゼリコルディア本部跡(長崎)

硬な政府側も一六二〇年まで壊すことができなかった理由も、そこにあります。

●社会に役立つ信徒使徒職組織

もし教会構成員が、自分たちだけの祈りや秘蹟、個人の救霊だけに没頭し、教会外の人々のために役立つことを考えないとすれば、

当然、社会からは無用なものとして無視され抹殺されていくことでしょう。キリシタンになった人々の多くが、迫害開始後も、集団以外の人々と、ある意味で暗黙の共存が可能であった理由には、慈悲

の所作を信条として生きる彼等の生活態度を挙げることが出来るように思います。

今から七年前、私はリスボンにある現代のミゼリコルディア本部



ミゼリコルディア本部(リスボン)

を訪れました。天正少年使節も滞在したことで知られる隣接のサンロケ教会は、やや閑散とした状態でしたが、ミゼリコルディアの施設は活発に活動していました。やはり社会のニーズに応じて、はじめて福音宣教も成立するのだと思われまます。

いずれにしても、慈悲の組は、強力な信徒使徒職組織でした。司祭が表向き指導出来なくなつてから、あるいは司祭が一人もいなくなつてからも、なお自分たちで活動出来るだけの自立性を当時すでに身につけるまでに成長していたのです。

生月の隠れキリシタン組織も、もともとは、この慈悲の組のものだと考えられています。彼等の代表者で、いわば司教に当たる「爺役」も、実は「慈悲役」から転訛したもののなのです。

社会に役立つ信徒使徒職組織、さらに社会が必要とする信徒使徒職組織、これが潜伏キリシタンが一人の司祭もいないまま、厳しい迫害下、その組織を維持し、信仰を継承することが可能であったこととの秘密だと思います。

1996年度カトリック京都司教区本部経常収支報告

I 経常収入	128,931,862	I 経常支出	164,462,475
1. 宗教活動収入	50,879,526	1. 宗教活動費	43,084,441
(1)ミサ献金収入	615,535	(1)祭儀費	39,525
(2)司教司牧収入	2,548,000	(2)教育養成費	3,709,611
(3)司祭司牧収入	11,365,336	(3)諸委員会活動費	623,040
(4)小教区賦課金収入	30,020,655	(4)教区事業活動費	34,515,434
(5)修道会賦課金収入	6,330,000	(5)諸活動団体補助費	2,770,000
2. 寄付金収入	14,786,817	(6)会議費	1,199,308
3. 補助金収入	32,602,314	(7)図書費	227,523
4. 特定献金収入	23,239,679	2. 寄付金支出	3,067,500
5. その他収入	7,423,526	3. 特定献金支出	23,239,679
II 特別勘定収入	12,130,076	4. 人件費	80,467,356
収入合計	141,061,938	5. 維持管理費	5,296,429
収支差損	41,837,537	6. 事務管理費	6,525,493
合計	182,899,475	7. 収益勘定繰出	2,781,577
		II 資産支出	18,437,000
		支出合計	182,899,475

昨年度の各信徒の皆様からの経済的援助および、各教会・修道院・学校施設の各位の教区への財政面でのご協力に感謝申しあげながら、1996年度カトリック京都司教区経常収支報告と、95年度との比較などでのコメントをいたします。

【収入面から】

- ①宗教活動収入の小教区賦課金収入については、各小教区(60)の教会維持費収入とミサ献金の総合計は、275,694,756円でした。この10%が本来の賦課金収入額ですが、まだ数教会が10%を納入されていないので、実際は1,370,000円の不足でした。一昨年は、6,000,000円の不足でした。
- ②修道会賦課金収入は、昨年より、1,710,000円多かったです。
- ③小教区からの司祭の給与分担金である補助金収入は、昨年より2,854,418円アップしました。
- ④特定献金収入のうち、阪神大震災義援金6,026,662円が含まれています。この義援金の教区の窓口は昨年12月に締切りました。京都教区からの累計は36,030,000円です。ご協力ありがとうございました。
- ⑤特別勘定収入のうち、司祭養成基金である「一粒会」収入は12,094,770円、「アジア基金」収入は706,525円でした。

【支出面から】

- ①宗教活動費は、昨年より、9,910,854円多く、率で29%増です。
- ②教区事業活動費のうち、福音センターの活動補助金が16,200,000円です。またすでに「日本26聖人殉教400年祭 in 京都」の会計報告をしたときに申しましたように、教区から5,456,239円支出しましたが、各教会にお願いしている記念誌・記念品の在庫販売の収入で、5,320,000円を教区に今年度中に返却できる予定です。
- ③人件費のうち、司祭分が、59,083,509円です(司祭の給与は、教区の財政を考慮して2年据え置いている、月額158,500円です。このうち小教区からは、司祭の給与分として26,825,054円、納めていただき、これは支給額の45%に当たります。昨年度は43%でしたから、多くの小教区で司祭の人件費分を少しずつアップしてくださったおかげです。しかし、それでも32,258,455円を教区本部から持ち出していることになり、教区の財政を大きく圧迫しています。
- ④資産支出では、河原町カトリック会館(教区管理部分)の冷暖房用設備取替えに、18,437,000円かかりました。
- ⑤収支差損は41,837,537円で、教区資産を取り崩して補填しました。昨年より10,940,084円増えました。

【総合的に】

一般的に各小教区からの会計報告を見ますと、本来、物価上昇や信徒の増加を考慮して、年々少しずつでもそれぞれの教会の維持費が増収して行くことが望ましいのですが、実際は横ばいか、減少している小教区さえあります。このような時代のなかで教会活動を支えていくために、田中司教様が昨年12月に経済問題に関する司教書簡で訴えられたように、やはり信徒各自の毎月の維持費の額を一人ひとりが再考して、少しずつでも上げていくことが必要なのではないでしょうか。

そして、教区の財政改善のために、今年度から賦課率が15%に上がっていますが、その小教区賦課金(教区納付金A)の全額納入と、小教区の司祭の人件費(納付金B)の全額負担を、小教区会計の重要課題として取り組んでいただきたいと思います。

文責：大塚喜直

集會司式者百六十二名、聖體奉仕者二百六名

〔京都北部地区〕

綾部(集會六名)四方修吉、四方圭子、浅井敏夫、浅井金子、牧野晃尚、梅原馨

福知山(集會四名)由良昭、大林栄一、久場勝、田中二三

報恩寺(集會四名)井浪保、芦田昇、片岡宏、岩木功

西舞鶴(集會五名)関ワカ子、植松誠明、古川八郎、伊藤武志、藤村照子(聖體七名)大槻志津可、加藤みつ、岡井益美、原田従子、平田マサヲ、平田クニヲ、白浜スエ子

東舞鶴(聖體一名)柳田萬津子

宮津(集會四名)ディン・コン・ミン、松崎政好、松山千鶴子、足立春幸(聖體三名)斎藤信子、玉手幸子、後藤淳司

岩滝(集會四名)白教安史、白教卓三、川辺真一、山添節子

加悦(集會三名)朝倉敏夫、赤野鐘一、小池忠四郎

網野(集會四名)野村寿成、田茂井重勝、池田龍彦、稲岡次雄(聖體二名)澤秋枝、稲岡深雪

丹後大宮(集會五名)安田尚平、頭島梅吉、松本経一、安田満、頭島聡(聖體一名)岡本千代子

峰山(集會三名)藤村嘉彦、藤村静

子、広野和子(聖體一名)牧野礼子

〔滋賀地区〕

大津(聖體七名)長崎孝、鈴木庸男、多田久子、金村明淑、園洋司、岡田清、巻上文字

唐崎(集會二名)荒井洋、篠田克巳(聖體四名)猪川照子、永井邦子、吉田洋子、田中静子

安曇川(聖體四名)太田隆生、小山美代子、岡田範子、金谷美智子

草津(集會八名)井上重夫、大原康園、神崎要、佐藤和男、田村邦夫、塚本次郎、三俣俊二、村田隆紀

(聖體六名)浅原脩子、稲富照代、平野駒路、久田誠一、大原悦子、多田千寿子

〔奈良地区〕

御所(集會三名)吉田弘、村田京子、松井八枝美(聖體三名)松井照智、友村忠司、清富洋三

富雄(集會六名)石田博和、横井一、佐々木稔和、三宅俊彦、山田勉、田尻浩二(聖體八名)埴芳子、不殿初子、覚道美佐子、佐藤守、北橋暢子、吉田惇子、古沢和恵、中沢正幸

登美ヶ丘(集會十五名)安田公一、石山英勝、芦田一彦、井川国夫、高秀公、国分美子、清住愛子、佐

野敏枝、橋本そのゑ、尾形キミ、中山真喜子、山家康詞、松尾克己、石河和彦、小柴健

奈良(集會十三名)田村昭一、斎藤茂行、青沼誠、相川和範、花岡恵美子、平鍋麗子、黒木武士、安川美和、柳原昭美、坂本久美、橋口嘉子、岡原久子、松永栄子(聖體十三名)松島則夫、山中一晃、前原美、黒木那智子、道下玲子、斎藤夫美子、山中カヨ子、松島芳美、山本福次郎、松原義夫、児玉秀夫、池崎聖一、伊藤俊介

大和郡山(集會六名)中村修一、江口紀晃、館博美、野島礼三、江口ヒデ子、田中哲郎(聖體十三名)橋本猛、野島龍一、松山基一、太田辰雄、浜田重厚、佐藤佳代子、堀内寿美子、宮川幸子、大牧靖子、植田佐保、徳美保子、山本千恵、徳修

大和高田(集會四名)木村義雄、野元繁、川口ノブエ、池口史枝(聖體八名)羽入田今朝雄、寺村四郎、友井久子、小西静夫、平山章、尾崎正子、野元嘉津子、青山澄子

西大和(聖體九名)久家和田子、赤波江キマ、田川幸子、松村明子、奥本孝史、久家淑治、井上務、尾崎一敏、郷原宣道

大和八木(集會四名)下嶋正昭、中

尾利一、オティール・ガードナー、白浜久男(聖體十二名)中ノ瀬晃、田中博文、白浜礼司、仲川啓示、中ノ瀬行義、平田喜代、古賀一敏、斎藤きよ子、和田智子、井村弘之、吉村静江、佐藤蓉子

〔三重地区〕

伊勢(集會四名)渡部直樹、渡部実、大崎伸、高取馨、浦壁隆雄(聖體二名)角前順子、梅田文

鈴鹿(集會三名)坂本哲夫、永田皓、富永正行(聖體二名)鈴木幸子、近田正子

津(集會五名)斎藤一男、森田新郎、稲地聖一、桑原洋子、下平義三郎(聖體六名)斎藤淑子、下平和子、村田きみ子、宮西いづみ、高山敬一郎、岸田実、久居(集會二名)藤井實、中井一久

雄(聖體四名)宇高泰代、富永勲、丹羽佳代子、松村倭文子

名張(集會四名)石田隆治、鈴木正實、和田房江、小林敏男

松阪(聖體四名)石原淳一、納戸節夫、荒田和彦、嶋岡進一

尾鷲(集會三名)勝山富久、岩城昌生、岩崎小恵子(聖體二名)花木実、出口富

四日市(聖體五名)石田妙子、大沢正義、斎木妙子、篠田秀和、枅谷千恵子

(次号につづく)

お知らせ

滋賀地区の行事

- ◆安土セミナリ記念ミサ 1日
- ◆県婦人の集い 28日14時。大津教会

三重研宗館の行事

- ◆暮しの中のカウンセリング 毎月曜日10時
- ◆韓国語講座 毎木曜日10時
- ◆茶道教室 毎木曜日13時
- ◆自然治癒力健康法温熱療法 毎金曜日11時
- ◆A A 毎土曜日18時

西院カトリック会館行事

- 連絡075(822)7123
- ◆おてんとさんの会 毎火曜日13時~16時30分。会費二百円
- ◆すみえ教室 第2・4木曜日13時30分~15時。講師|| Sr野元品子 会費二千元(二回分)と教材費
- ◆聖書研究と手話の勉強 毎木曜日19時30分
- ◆Srアスタの書道教室 毎金曜日13時30分。月謝三千元
- ◆柳本神父の雑学講座 4日10時30分。テーマ|| 神仏習合。資料代五百円

河原町カトリック会館行事

- ◆結婚講座 7日、21日、7月5日、19日、8月2日

- ◆カナの会例会・結婚相談室 1日13時受付。13時30分~15時
- ◆京都カトリック混声合唱団 8日14時。28日19時
- ◆一万匹の蟻 18日19時
- ◆正義と平和協議会学習会 21日
- ◆クリシタン研究会 22日14時
- ◆Srドローレスの聖書講座 27日10時30分

年間予定追加

- ◆聖母行列 8月15日。報恩寺教会

- ◆「一万匹の蟻運動」第五回定例総会(3月23日) 報告
- 一、事業報告
- ▼定例理事会の開催(毎月第3水曜日夜河原町会館にて)
- 一、基金報告(4月14日現在)
- ▼累計一五、二五一、四二二円
- ▼加入者 861名
- 一、役員改選
- ▼顧問 田中健一司教、村上真理雄神父
- ▼理事長 橋本泰爾
- ▼副理事長 大塚喜直被選司教、入江一男
- ▼常務理事 山野一
- ▼理事 松尾昭三、柴田敦代、辻井芳一、松浦史郎、米津富造
- ▼幹事 能勢慎

昨年教区の財政の改革を始めるにあたって説明がありました。その中を通り抜け献金の「一粒金」などと同じように、教会建設募金「一万匹の蟻」も固定させるものとして勘定科目が設けられ、蟻のような私達の努力が認められてきたことに喜びを感じております。また、他教区からもこの運動の問合せがあり、資料を送ったことを報告致します。この運動が全国に知られ広がっていくことを祈ります。(文責・松尾昭三)

- ◆信徒宣教師水野美香の近況
- ▼2月1日ホームステイ開始。六十五歳の独り暮しの女性のアパートにて。
- ▼ロシア語個人レッスン、週3回、9時間あり。
- ▼カリタス・プリモリエの訪問看護事業活動に週2回参加。ボランティア・スタッフと共に老人宅を訪問し、薬を配布。
- ▼3月2日より、教会にて日本語教室開始。対象者は主に子供。
- ▼毎週末、遊びの予定あり。ロシアでは大人達が誕生パーティーを自分で催す習慣。自宅やら職場やら多数体験。

ソ連の老人事情

ソ連崩壊後、老人は社会的に一番の弱者となった。若く働き盛りの頃に老後に備えていた貯えは、ルーヴル価値の暴落により、全くの無一文同然の額になってしまった。社会主義体制では、社会が面倒見るはずであった老人は、子供たちによって面倒見られることもなく、ただ世の中を嘆いている。一般モラルの中には、労働を終えた老人に対しての尊敬は大いにあり、席もすぐに譲られる光景が見られる。(水野美香)

青年センターを御存じですか？

皆さんは西院教会のすぐ近くに
ある青年センターを御存知ですか。
毎週日曜日に教会にきて、知っ
ている人が少ない、同世代の人が
いないと思っっている方はいませ
んか。

全国の教会では、各地区それぞ
れに青年の集まりがあり、その地
区ごとの活動をしています。自分
が通っている教会に、青年の数が
少なくても、隣の教会ではたく
さんの青年たちが活発に動いてい
るという可能性もあり得るのです。
そういう風に教会や地域によっ
て差があるわけですが、その差を
超えて、教会と教会のつながりを
結ぶために、情報面や金銭面でお
手伝いして活動を具体化していこ
うというのが青年センターです。

あんてな (((((()))

センターでは、機関誌
「じよばに」を発行して各
地区の情報や青年の活動を
アピールしたりもしていま
す。青年にかぎらず、自称、
青年という皆さんまで幅広
く青年センターを利用して
ください。いろんな形で出
会いの場を提供出来たらと
思っています。(竹口直子)

LOOK AT ME

in奈良

6月21日19時〜22日18時、
登美ヶ丘教会

青年センターでは、LO

OK AT ME in奈良

にむけて動き出しています。

かたい青年のつどいではな

く、みんながもつと集まり

やすくするためにはどうしたら

いか。いろいろな意見が出され、

納得いくまで話し合います。

ラフなつどいを開き、ただの交

流で終わらないこと。高校生たち

も引き入れて、次期の青年とのつ

ながりを作る。京都教区中の青年

が顔見知りになる。このような夢

や期待をこめて、初めての試みで

あるライブミサを計画中！ライ

ブを聞きながら、みんなでミサを

作りあげてしまおうという青年な

らではこのアイデア。また、テ

ニスやフオークダンス、おしゃべ

りなど。連絡075(882)6

246。途中参加、突然参加も可

です！ (小木曾恵美子)

青年センター開館時間

日・水・金曜日14時〜18時

月・木曜日15時〜20時

火・土曜日、祝祭日は閉館

((())) あんてな

侍者合宿

3月24日〜26日



きてよかった

草津教会 森 愛灯

教会で侍者合宿のことを聞いた
時、私はすぐ「行きたい」と思
いました。お父さんに「本当に行く
のか？ 侍者の合宿やで、合宿」
と言われて、少しまよったけど行
くことにしました。

宗教研習館に着いたら、すぐに
知らない子が「なんていう名前？」
「同じはんやね」と言っ、しゃ
べりかけてきてくれました。私は
「きてよかった」と思いました。

侍者練習は、せすじをピツとの
ばし、ゆっくり歩き、いろいろな
ことに気をつけなければいけない
ので、少しつかれました。

聖香油のミサでは、ぜんぜんき
んちようしませんでした。パイプ

子もいて、おこつて、笑つて、と
ても楽しい合宿になったと思いま
した。

うれしかった

登美ヶ丘教会 大湊 淳

ぼくはこの三日の間に色々な事
を学んだ。ころろの時の練習は
うまくいったか分からなかったけ
ど、松本神父さまが「うーん。い
い音が出てきた」と言ってくれた
時は、本当にうれしくて一番心に
残っている。

そして、一回一回、神でんに入っ
ておのりするなんて、はっきり
言っ、めんどくさいという思いが
いつもあった。でも、森田神父さ
まが「それはちがう。そう考えて
いる人はいつかこうかいする」と
言ってくれた時も、うれしかった。

教区スケジュール

6月

1日(日) 堅信式

(安土セミナリオ跡)

15日(日) 司教叙階式(洛星)

16日(日) 司教会議(東京)

29日(日) 堅信式(奈良教会)

お知らせ

◆修道女連盟の役員紹介

代表Ⅱ Sr安井(ノートルダム教育修道女会鹿ヶ谷修道院)

副代表Ⅱ Sr竹田(聖ドミニコ宣教修道女会園部修道院)、Srメリー・ロレッタ(メリノール女子修道会松ヶ崎修道院)

◆福音センター養成コース・社会の中でキリスト者とする

7月5日～6日。野外礼拝センター。定員三十名。一万四千元。申込075(822)7123

尚、6月14日～15日に予定していました養成コースは9月6日～7日に変更となりました。

◆聖書委員会主催聖書講演会

6日13時30分～16時。河原町教会地下ホール。テーマⅡ福音を説く

イエス・ルカ福音書4章より)。講師Ⅱ西経一師(神言会司祭)。五百円。聖書持参。連絡075(822)7123

◆地球環境を考える会

4月27日河原町会館で第二回目を開催。参加約五十人。足元のことから、とテーマは「ゴミ問題とリサイクル」。京都大学環境保全センターの高月紘先生がスライドを使いながらお話しくださいました。リサイクルが、「回収」にとどまるなら、無意味どころか却って、環境悪化を助長する、まず、生活のありようを問わねば、と学びました。次回は27日14時～16時。河原町会館6階和室。問合せ075(464)6680平野 059(229)7997宮西

◆ポランティア養成基礎講座

20日10時～11時30分。田辺教会。テーマⅡポランティア活動とは。

講師Ⅱ広岡洋子先生。八百円。主催Ⅱカトリックポランティア奈良連絡会。後援Ⅱカリタス奈良。連絡0742(47)1298西原エツ子

◆のぞみの園ポランティア講座

19日13時30分～16時。テーマⅡ老いに学び高齢者をつくる共生社会。講師Ⅱ加藤博史さん(京都文教短

期大学助教)。参加費Ⅱ無料。申込締切10日。連絡075(662)3961 Sr渡辺

奈良地区の行事

◆ファミリーデー 1日14時～15時10分～16時30分パーティー。野外礼拝センター。奈良県以外の近隣の方も自由に参加下さい。

◆正義と平和奈良協議会定例学習会 22日14時～16時。大和高田教会。テーマⅡ環境問題(その2)。発題者Ⅱ西野神父。連絡0742(61)1671事務局代表堀尾

京都北部地区の行事

◆京都北部カトリック協議会大会 8日。暁星女子高等学校

◆要理講座 4日、18日。西舞鶴教会

京都南部地区の行事

◆朝禱会 毎火曜日7時～8時。

夕禱会 第2月曜日6時30分ミサ後～19時。河原町教会。食事及び雑費Ⅱ三百円。事務局075(751)2337

◆結婚記念祝別ミサ 8日。河原町教会

◆SVP例会 8日。河原町教会
◆みことばを聴こう 8日13時20

分。ドミニコ女子修道院。テーマⅡすべてをすばらしくするイエス。

講師Ⅱルカ師(フランシスコ会)。対象Ⅱ青年男女。締切1日。075(231)2017安達

◆信睦二金会 13日。西陣教会

◆在世フランシスコ会京都兄弟会例会 22日13時30分。フランシスコの家

◆子羊会例会 22日。高野教会
◆SVP中央理事会 22日。河原町教会

◆鎌みその会 26日。九条教会

◆コロチエレステ練習日 第2第4木曜日10時。河原町教会

◆編集部よりお知らせ

お知らせに載せたい行事の情報は、7月号でしたら5月31日まで、8月号でしたら6月30日までに、FAX0775(27)6800にお願いします。

◆電話番号情報コーナー

▼いのちの電話(相談窓口)
075(864)4343
0742(35)1000
052(971)4343

▼京都市東九条在宅介護支援センター(24時間体制)
075(662)3971